

令和2年度事業報告書

令和2年度の運営方針としては、「ご利用者の満足度を高める施設作り」を目標に、今まで当たり前のようをしていたことや慣れっこになっていたことについて見直し、入所者の方やデイケア利用者の方に安全・安心な二葉園を利用していただく様に心がけました。その中でも、事故については、リスクマネジメント委員会（理事長もこの委員会に参加しています。）及び定例会議で事故報告書から原因分析とその対策を協議して、ご利用者一人ひとりが有する潜在的、顕在的なリスク等の情報収集を行い、サービスの個別化を図り事故を防止してきました。それにより、介護職員を起因とする事故や大きな事故については、前年から微増したものの、依然として低水準を維持することができました。

次に、職員の教育について、入職時及び入職後の研修体系を整備し、入職後出来るだけ同じ職員が指導することとし、入職後の不安を解消し、働きやすい職場、職員が長く働ける職場作りを目指しました。また、職員研修についても、新人職員及び既存の職員に対し、年間カリキュラムを作成し、必修研修として、職員の資質向上(理事長主催の理念研修を月1回ペースで行いました)を目指しましたが、コロナ禍の状況下では3密を避けるため、資料回覧とした場合があります。

また、通所リハビリテーションについては、午前と午後の短時間利用制度を継続・充実し、利用者とその家族のニーズに対応しましたが、コロナ禍であり、利用者の自粛もあり、残念ながら前年を下回る利用となりました。来年度は、今後も地域の方々に気軽に利用していただける施設となるよう、努力し、業況を回復したいと思えます。入所については、在宅復帰施設であるという考えを職員と共有し、強化型施設を目指すと共に、ベッド稼働率についても高い数値を維持することと、今後も、利用者の満足度を高める様、他職種と連携し、取り組みたいと思えます。

令和2年2月より開始した企業主導型保育事業は、年度末の時点で16名の園児の利用があり、事業が軌道に乗ってきました。

地域貢献事業としては、前年同様、いろいろなイベントに参加する予定でしたが、コロナの影響により全て中止となり活動できませんでした。令和3年度は、本来のイベントへの参加と保育園の2階を地域交流スペースとして、地域の方々と交流出来るようにし、災害時には、地域住民と協働して救助応援をする関係づくりを目指します。

令和3年度についても、昨年同様認知症サポーター養成に力を入れ、職員全員がオレヅリングを身につけることが出来るようにするのはもちろんのこと、機会があれば外部へも出向き、安心して住み慣れた地域で暮らせるお手伝い出来るように地域の杖のような施設を目指します。また、施設での認知症ケア(本年度も公文学習療法を充実させる予定です。)についても施設外研修や施設内研修により、「安全・安心」の介護が出来るように、顧客満足度の向上と従業員満足度の向上を目指します。

令和3年6月24日
社会福祉法人 日光会
介護老人保健施設 二葉園

日光会令和3年度事業計画

<令和2年度を振り返って>

令和2年度はコロナによるご利用者の利用控え等により、収支共に厳しい業況となった。

老健の入所者についても稼働率が低下したが、特に通所デイケアの利用者が著しく減少し、延べにすれば約900人の対前年比減少となった。

昨年2月にオープンした新規事業である保育園については順調に園児が増加し、予定より早く軌道に乗せることが出来た。

経費面では人件費が徐々に増加しており、今後も採用環境を考慮すれば、増加傾向が続くものと思われる。

将来の介護職員採用が困難になることを見据え、ミャンマー女性を外国人技能実習生として前年に2名受け入れたが、今期はコロナの影響での入国遅れにより受け入れが懸念されたものの、秋より2名受け入れることが出来、計4名となった。なおご利用者にも問題なくスムーズに受け入れていただけており、今後の受け入れについても進めて行くものです。

<令和3年度の課題>

コロナ収束状況により収入が大きく変わって来るところから、業況の見込が非常に立てにくい状況にある。収入が減少してもそれに伴い減少する経費はわずかであり、当面厳しい状況が続くことが予想される。

保育所については定員に対し、ほぼ満額の収入が得られる状況になっており、開所来運用を見合わせていた病後児保育をスタートさせることで、増収を図って行くものとする。

経費面では、適正な人員の見直し、職員の定着率を高めることによる人材紹介料の削減等人件費の抑制に努めるとともに、常に業務に無駄が無いかきめ細かく見直しを行なって行くものとする。

なお、保育園ビルの3階・4階部分の活用については、具体的に検討を進め、新しい事業をスタートさせたい。

<ご利用者の満足度を高めるために>

令和2年度はコロナの影響で、各種イベントの自粛や縮小、面会制限など大変ご不便をおかけした。

ご利用者の満足度の充実は常に意識しているところであるが、このような環

境のなかでも工夫をかさねることで、より充実した生活を送っていただけるように、努力しなければならない。

真心からのおもてなしを感じていただけるように、理念研修等を通じて職員の質の向上を図るべく力を注いでいきたい。

<令和3年度収支予算計数>

収 入	578,700,000 円
費 用	554,380,000 円
サービス活動外収支	-2,149,000 円
収支差額	22,171,000 円

※コロナの状況により、適時事業計画については見直しを行うものとする。

令和2年度苦情結果報告

令和2年度は 苦情の申し出はありませんでした

社会福祉法人日光会

監査報告書

令和3年 6月 22日

社会福祉法人 日光会
理事長 中山 享一良 殿

監事 勝山 武彦

監事 孫井 悦子

私たち監事は、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの令和2年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告等（事業報告及びその附属明細書）について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

① 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告等は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

② 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

計算関係書類・財産目録の監査

監事は、計算関係書類（計算書類及びその付属明細書）及び財産目録を受領したときは、次に掲げる事項を内容とする監査報告を作成しなければならない

（改正後社会福祉法施行規則第2条の27及び第2条の40第2項）。

- ・ 監事の監査の方法及びその内容
- ・ 計算関係書類が当該社会福祉法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているかどうかについての意見
- ・ 監査のため必要な調査ができなかったときは、その旨及びその理由
- ・ 追記情報（会計方針の変更、重要な偶発事象、重要な後発事象などの事項のうち、監事の判断に関して説明を付す必要がある事項又は計算関係書類の内容のうち強調する必要がある事項）
- ・ 監査報告を作成した日

事業報告等の監査

監事は、事業報告等（事業報告及びその付属明細書）を受領したときは、次に掲げる事項を内容とする監査報告を作成しなければならない

（改正社会福祉法施行規則第2条の36）。

- ・ 監事の監査の方法及びその内容
- ・ 事業報告及びその付属明細書が法令又は定款に従い当該社会福祉法人の状況を正しく示しているかどうかについての意見
- ・ 当該社会福祉法人の理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実があったときは、その事実
- ・ 監査のため必要な調査ができなかったときは、その旨及び理由
- ・ 内部管理体制の整備に関する決定又は決議の内容の概要及び当該体制の運用状況の概要（監査の範囲に属さないものを除く。）がある場合において、当該事項の内容が相当でないと認めるときは、その旨及びその理由 ※初年度は該当なし。
- ・ 監査報告を作成した日

財 産 目 録

令和 3年 3月31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額(貸借対照表価額)	
I 資産の部						
1 流動資産						
現金預金	小口現金 76,022円 三井住友銀行/西野田支店 54,563,924円 (うち積立資産48,392,026円を含む) みずほ銀行/十三支店 25,823,058円 ゆうちょ銀行 4,583,411円 滋賀銀行/八幡駅前支店 77,578,206円 京都銀行/近江八幡支店 40,003,508円 2. 3月分介護報酬等	—	運転資金として	—	—	155,236,763
事業未収金 立替金	—	—	—	—	—	85,689,417
流動資産合計						242,368,648
2 固定資産						
(1) 基本財産						
土地	豊中市二葉町2丁目8-3番1 1,133.00㎡ 豊中市二葉町2丁目8-3番 95.17㎡ 豊中市二葉町2丁目8-3番2 482.64㎡	2004.06 2004.06 2016.10	第2種社会福祉事業である介護老人保健施設二葉園などに使用している 第2種社会福祉事業である介護老人保健施設二葉園などに使用予定	140,843,200 — 73,308,858	—	214,152,058
建物	鉄筋コンクリート造陸屋根5階建 2,417.11㎡ 鉄骨造合金メッキ屋根ぶき2階建 388.8㎡ 鉄骨造合金メッキ屋根ぶき2階建2階部分改装 ニココ保育園ふたば	2005.03 2011.03 2017.08 2019.12	第2種社会福祉事業である、介護老人保健施設二葉園などに使用している	350,828,807 38,361,557 23,760,000 251,537,628	103,037,109 9,074,002 1,742,400 6,702,869	247,741,698 28,887,555 22,017,600 244,654,769
小計						542,891,612
基本財産合計						756,863,670
(2) その他の固定資産						
建物	—	—	第2種社会福祉事業である、介護老人保健施設二葉園等に使用している ニココ保育園ふたばに使用している	236,775,249 — 34,032,160	167,611,420 — 3,004,616	69,163,829 — 31,047,544
構築物 車輦運搬具 器具及び備品	ワゴンR他9台	—	利用者送迎用	30,802,581 10,422,925 69,925,515 6,155,492	15,826,255 6,723,428 40,345,259 6,155,466	14,976,326 3,699,497 29,080,257 16
有形リース資産 債権 無形リース資産 預託金 退職給付引当資産 その他の積立資産 差入保証金	修繕積立金	2018/01 — — — — —	電話機 主装置 水道加入権、セコム、黒田興産保証金 車西リサイクル社 退職共済金預け金	— 12,346,534 91,656 16,238,228 48,392,926	— — — — —	4,728,356 7,036,254 5,099,400 91,650 16,238,228 48,392,926 50,060
その他の固定資産合計						229,499,383
固定資産合計						986,363,053
資産合計						1,229,021,701
II 負債の部						
1 流動負債						
事業未払金 1年以内返済予定設備資金借入金 1年以内返済予定リース債務 預り金 器具預り金 仮受金 賞与引当金	住民税、所得税	— — — — — — —	—	— — — — — — —	— — — — — — —	22,878,894 36,412,000 4,095,576 148,000 1,433,911 1,457,593 5,000,000
流動負債合計						71,425,974
2 固定負債						
設備資金借入金 リース債務 退職給付引当金	福祉医療機構 168,630,000円 滋賀銀行293,199,000円 ワイズマンID介護システム 日立電話機装置	— — —	—	— — —	— — —	355,417,000 5,326,456 18,612,339
固定負債合計						379,349,694
負債合計						450,975,668
差引純資産						778,046,033